



RIKKYO UNIVERSITY
VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE

2024.8.1



こんにちは。ボランティアコーディネーターの齋藤です。

酷暑の中ですが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。私は先月、「令和6年能登半島地震」で被災し、大きな被害を受けた石川県七尾市和倉に行ってきましたので、そこでの様子を少し紹介いたします。

ボランティアセンターでは、現地視察を踏まえて、本学の校友が経営する老舗旅館「株式会社 加賀屋」を最初の受け入れ団体とし、被災地支援のプロジェクトを立ち上げました。

先月は、同プロジェクトにおける活動の第一弾として、7月1日(月)～3日(水)の2泊3日で現地入りし、学生6名と活動を実施。「加賀屋姉妹館 あへの風」にて、発災当時のままになっている客室から備品を運び出しました。

備品の中には、消耗品だけでなく、輪島塗のテーブルなど伝統技能でつくられた調度品や絵画などの美術品があり、当然「ゴミ」ではありません。

だからこそ、ただ作業を急ぐのではなく、丁寧に作業を進める必要があります。旅館の歴史や様々な人の思いが詰まった備品の“重み”を感じながらの作業となります。

また、一緒に作業をした旅館のスタッフの方々から、震災前の様子・震災から今までの様子をお聞きしたことで、ここに携わる人・ここを何度も訪れていた人・この地域が「何を大切にしてきたのか」が少し見えてきたように思います。

現地の方々大切にしていることを、私たちも大切にすること。

現地の方々に寄り添い、復旧・復興に向けてともに歩んでいくこと。

今月実施予定の第二弾(8/16-21)の活動においても、これらのことを忘れずに、現地の力になれるよう取り組んでいきます。

第一弾の活動の様子は、後日記事として公開予定です。ぜひご覧ください。

そして、今後も現地の状況に関心を寄せていただきますようお願いいたします。

齋藤 元気

(池袋キャンパス ボランティアコーディネーター)

各コンテンツの詳細は、ボランティアセンター公式【note】からご覧ください！

https://note.com/rikkyo_volunteer/n/n709c62a3bc05

**** 今月のCONTENTS ****

■ボラセンからのお知らせ

【1】ボランティアセンター 夏季休業期間中(8/1～9/19)の開室日時について

- 【2】熱中症に十分な注意を！
- 【3】ボランティア保険に加入していますか？
- 【4】貸し出し開始図書を紹介！

■ボラセン活動レポート

- 【1】東京都障害者スポーツ大会「陸上競技(知的部門)(身体・精神部門)」を立教チームの学生ボランティアが支える！
- 【2】「ALLとしま×立教 WAKUWAKU防災フェス」の裏で、立教チームの学生ボランティアが活躍！
- 【3】子どもを安心して預けられる場をどう創る？「子ども服マーケットinSunshineCity」の運営に立教チームのボランティアが参画しました。
- 【4】学習支援の現場の声を聞く「ボラカフェ」を開催しました！ | ゲスト: 彩の国・子ども若者支援ネットワーク

■ボランティア関連情報

* 助成金・補助金情報 *

- 【1】子どもたちの"こころを育む活動"大募集
- 【2】令和6年度「学生ボランティア団体助成事業」「学生ボランティア団体活動レポート」募集

■RSLセンターからのお知らせ

■陸前高田サテライト事務局からのお知らせ

陸前高田サテライト援助金制度を利用して、陸前高田グローバルキャンパスに行ってみよう！

■□■ 巻末コラム ■□■

こんにちは！7月号を担当させていただきます、学生コーディネーターの池田です。

最近本格的に暑くなってきて、外に出るのも億劫になりますよね。立教にはパワフルな学生が多く、夏休みに入ると多くの方がボランティアに参加します。農業体験やキャンプなど、夏だからこそできる貴重な体験があるので、暑さに負けずに体験したいですね。

具体的にどのような活動があるのかについてはボランティアセンター(池袋:5号館1階、新座:7号館2階)に行くとパンフレットがゲットできるので、ぜひお立ち寄りください！

僕はボランティア活動に参加してみて、「ボランティアとは何なのか」と言うことがどんどん分からなくなってきました。全然ネガティブな意味ではないのですが、ポジティブな意味もなく、「わからなくなってきた」と言う事実があると言うだけです。

そこで、今回は「ボランティアとは何なのか」という問いに対して僕なりの一応の結論を出していきたいと思います。6月号で齋藤さん(池袋ボランティアコーディネーター)が仰っていたように、ボランティアが活動するフィールドごとにボランティアに対する考え方があるのは当たり前です。

しかし、それらも「ボランティア」という表現でまとめられている以上、何かしらの共通項があるのだと思います。それを探っていきたいです。

今回はボランティアの定義・特性からアプローチしていきたいと思います！

立教大学ボランティアセンターが考えるボランティアの特性としては、①自発性、②社会性、③無償性、④互恵性があります。僕が特に分からなくなるのは、社会性と無償性です。まず社会性とは、「社会の中で自分の役割を探していこう」というものです。これについて何が疑問なのかというと、「そんなものあるのか？自分の役割ってなんだよ」ということです。

次に無償性とは、文字通り「ボランティア活動をした対価として金銭を授受してはいけない」というものです。これについては、単純に「なんで?」と思います。ボランティアは意識高いとか、なんのためにやるのか分からないなどよく言われると思うのですが、これらは無償性という特徴がある結果なのかなとも思います。労力に対して対価が欲しいと思うのは当たり前ですもんね。

以上の二つのことから僕が出した答えは、「ボランティアとは、労働力や金銭、物資などを求めるものではなく、人を求めるものなのだ」というものです。世の中に全く同じ人はいないし、あなたの価値や特徴は金銭で計ることはできません。ボランティアはこのような考えのもと、上記4つの特性を持つのではないかと思います。

以上のように、「ボランティアとは何なのか」という問いに対して、「人を求めるものである」という一応の結論が出ました。これは、ボランティア活動先を選ぶ際にも役立つ基準となるのではないかと考えます。自分が応募しようと思っているボランティアは人と求めるものなのかどうか。無償性をいいことに搾取しようとする、“偽”ボランティアではないのか。皆さん自身を守るためにも、是非今回の記事を参考にしてもらえたらと思います！

池田 明悦
(第2期 学生コーディネーター／法学科 2年)

立教大学ボランティアセンター

池袋キャンパス(5号館1階)・新座キャンパス(7号館2階)
開室時間: 月～金 9:00～17:00

▼ボラセンWebページ

http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html

▼メールアドレス

volunteer@rikkyo.ac.jp

▼X(@rikkyo_volucen)

http://twitter.com/rikkyo_volucen/

▼Instagram

https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja

配信停止を希望の場合は以下のGoogle Formを送信してください

<https://forms.gle/PRuubMtYvuHVfKoG8>

(C)2019 RVC all rights reserved.
